

摩周湖へ

中内伊美子

平成18年から5年間実行委員長として青少年文化体験フェスタに携わってきました。第10回日の入間小学校を最初に、7月と12月の年2回の実施でした。第17回日の水宮小学校と水宮公民館を会場としての計画は、開催準備すべて済んだ時点で、インフルエンザ流行の為急遽中止しました。



摩周湖にて

この第17回に予定していた会場で第19回目を実施出来ましたので、会場となっていたいたのは学校9校と1公民館です。

今年度文化団体連合会の組織が変わったこと、私自身の、夜の数多い会議への車での出席は、より注意が必要となっていくことなどを考え合わせ、引き時と考えました。



小清水原生花園駅にて

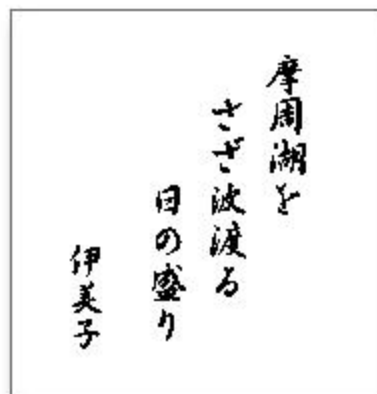
長と名の付く立場には十分力を尽くしたとは思いますが、何分にも、特に機器を活用しての実務的なことは、すべて委員の皆さんが遂行して下さいましたことのお陰様の5年間でした。

自分への慰労と夫の誕生祝いを兼ねて、7月初旬に北海道へ旅行しました。すでに何回か訪れている地なので趣向を変えたツアーに参加しました。大宮から特急のグリーン車、新潟から小樽へ特等船室、それなりのホテルや食事、美瑛丘めぐり、北斗星寝台個室と大

盤振舞？をしたつもりです。

摩周湖は日盛りながら風の心地よい日で、「霧の摩周湖」にあらず、青い湖面を細波が渡っていました。知床五湖の一湖へは、前回と変わって、熊避けの電線をはわせた橋掛りの木製の歩道が作られ、数ヶ所が展望台になっていました。小清水原生花園の景色にも癒まれ、三瑠璃(ハマナス)、エゾキスゲ、エゾスカシユリの一面の満開の上を強い風が吹き抜けていました。

留守中庭に留守番を買って出てくれたものがあります。軒近くの枝に鴨が巣を作り、卵を抱いていました。



編集後記

私の所属している狭山市民謡協会は、毎年実施していた「民謡のつどい」を今年は中止。8月末の日曜日の小ホール開催を31回も続けて来たのに残念。異論もあったが、電力事情、猛暑の予感、会員の高齢化等の心配が理由。8月中旬市民会館に聞いてみると、館内には苦勞している、28℃は満席だと冷房の効きも悪く申し訳ないとの事。

さて組織改革により、広報委員会が発行していたネットワークニュースが113号をもって終了、新発足の事務局担当となりました。新メンバーにて制作しますが、前広報委員長の角南さんが外れて苦心しました。会報タイトルを変更するにあたり、題字を市民美術協会の竹本和彦氏に依頼し、レイアウトを文化ボランティアの鈴木克身氏にお願いました。皆様の協力により発行する事が出来ました。(高沢正夫)